令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：37082
学校名：北翔支援学校

健康・運動に関する本校児童生徒の実態

★自力で移動できない肢体不自由と肢体不自由以外（知的障がい、言語障がい、視覚障がい等）の重度の障がいが重複している児童生徒が学んでいる。

★日常生活では、医療的ケアや全面的な介助を必要とする児童生徒が多い。（脱臼や側わんに配慮した姿勢保持、気管切開や人工呼吸器による呼吸管理・喀痰喀出 等）

★運動動作については、骨折や脱臼に繋がらないように機能面の特徴を理解して関わる必要がある。（硬直や緊張等のために可動域が小さい、意思どおりに手足を動かすことが難しい 等）

★給食は一人一人の実態に応じて５段階の食形態で対応しており、摂食に関しては誤嚥などの事故が発生しないように注意が必要である。

プログラム編成のポイント

◎それぞれの体調や障がいの状態、運動機能に応じた学習内容の設定

◎運動の楽しさや喜びを味わう経験の蓄積による、心身の健康の保持増進や豊かな生活を実現する資質・能力の育成

◎活動のベースとなる「からだづくり」、個別の指導計画の共有と活用

◎食指導、自立活動としての給食

◎スポーツの楽しさを知る体育

三つの取組

①体育・保健体育等の授業の充実

具体的な取組

【取組の視点】
○運動機能を最大限に活用できる学習活動
○児童生徒の障がいの状態や運動機能に応じた ICT の活用

【具体的な取組】
・プール学習(年間を通して使用可能)
・北翔ラジオ体操
・ボッチャ
・風船バレーボール
・大型遊具（トランポリン、板ブランコなど）
・サッカー
・フォークダンス
・室内ボブスレー
・室内カーリング
・雪上運動
・・・など

②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

【自立活動】
・個別の指導計画に基づいた指導
・ふれあいたいそう「ふあふあ」「リマック」
・ボールプール（感覚刺激・ボディイメージ向上）
・バランスボール、ホーススイング等（感覚統合）
・身体の移動(寝返り、膝立ち位、歩行、補助具活用等)
・・・など

【からだづくり】理学療法士、作業療法士との協働による自立活動の指導
・個別の指導計画に基づいた活動
・上肢・胸郭・体幹・下肢の柔軟性維持・向上訓練
・立位バランス訓練
・坐位練習
・上肢動作訓練
・関節可動域訓練
・・・など

③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実

【食に関する指導】
・各教科等における食に関する指導
・給食の時間における食に関する指導
・個別的な相談（食物アレルギー、摂食機能に応じた食形態による提供）

【口腔衛生摂食相談】～歯科医師による医療相談
・摂食訓練に関する指導・助言及び訓練指示箋の発行
・児童生徒の発達に関する医学的・専門的な見地からの指導・助言

【整形相談】～整形外科医師による医療相談
・四肢・体幹の機能訓練に関する指導・助言及び訓練指示箋の発行
・補装具の製作および調整に係る指導・助言及び意見書の発行

家庭・地域との連携・協働

個別の指導計画の PDCA サイクルによる評価・改善と家庭との共有
学校評価の活用